



日和山

新潟市立日和山小学校
学校便り 第94号
令和5年10月18日

で・を・と

校長 宇ノ井修二

「どうせやるなら楽しくやろう！」をモットーにしている日和山小学校では、令和5年度の「学校運営の基本方針」の中で「しも町**で**・しも町**を**・しも町**と**」を考慮した教育活動を展開することを明文化しました。

あいさつを日常化する習慣づくりの取組として、「目指せ あいさつ5万人運動」を実施しました。いつもの「あいさつ運動」とは、ひと味もふた味も違いました。1人が1日35人にあいさつすることで、4日間の全校での合計が5万人を超えます。それを目標に設定したのです。PTAの役員の方も、商店街を中心として地域の方々もご協力くださいました。ご自宅前に立ち、子どもたちにあいさつしてくださいました方もおられました。新潟柳都中学校の生徒の皆さんも当校の児童玄関前まで来て協力してくれました。夕方のテレビニュースをご覧くださった方も多かったことと思います。しも町全体**で**、しも町**を**活気あるものにする、しも町の皆さん**と**共に行く、話題性抜群の「あいさつ運動」でした。

テレビ局が入ることも、中学生が児童玄関前まで来てくれるということも、PTAの役員がおいでくださることもそれぞれ聞いていましたが、有能な職員しかいない当校にとっては何の問題もないだろうと考え、様々な対応を職員に任せて、自転車地域巡回に出ました。ありがたいことに、たくさん地域の方が、あちらこちらであいさつしてくださいました。青パトで回ってくださっている方もおられました。1日目は大雨の中、2日目は快晴で暑すぎるくらいに暑い中、3日目はポツポツ雨の当たる中、私自身も毎日たくさんの方々**と**あいさつを交わすことができました。

ある女性が子どもに話し掛けてくださっている場面に出くわしました。「おはようございます。いいあいさつだね～。おばさんが何人目？」この言葉を聞き、「目指せ あいさつ5万人運動」を意識してくださっていることがはっきりと分かりました。別の場所では、ある男性が言っていました。「ほら！あいさつ運動してるんだから、もっとしっかりあいさつせ～！」この方も、「目指せ あいさつ5万人運動」を意識してくださっていたわけです。ご自宅の玄関前であいさつ運動に加わってくださっていた方にお礼を言うと、「こういうの、いいですね。朝一番子どもから元気をもらえます。」とのこと。私たちが目指していた、いくつかのめあてのうちの一つ「しも町**を**元気にする」というめあてが、達成できたかもしれないと感じさせてくださる言葉でした。

9月21日(木)朝5時半過ぎの教務室、ネットの天気予報や注意報を見つめながら相談し、残念ながら「遠足中止」の結論を出しました。同時に、地域教育コーディネーターから、子どもたち**と**一緒に歩き、ご協力いただく予定だった学校支援ボランティアさんに「中止」の連絡を流してもらいました。すると、あるボランティアさんから、地域教育コーディネーターに返信がありました。その文章を紹介します。

「あらためて考えてみると、70歳を超えて、『遠足があるかないか！？とウキウキする。』なんて、幸せなことですよね！」

日和っ子は幸せです。たくさんの方々**が**、一緒になって教育活動を楽しんでくださっているのです。これからも「しも町**で**・しも町**を**・しも町**と**」を意識した教育活動は、総合的な学習の時間を核にして推進していきます。ここで、各学年のテーマを紹介します。

- | | | |
|----|---------|------------------|
| 3年 | 一日店員活動 | ～お店の方となかよくなる～ |
| 4年 | 大好き新潟 | ～砂の町 新潟～ |
| 5年 | 共に生きる | ～あったかタウン日和山～ |
| 6年 | 楽Simo～町 | すぐそこにタイムカプセルがある町 |

日和山小学校では、教師も子どもも楽しみながら学習を展開していきます。

どうせやるのです。どうぞ、わくわく、ウキウキしながら、一緒に楽しんでください！

自分に挑戦！持久走記録会 ～5分間を走りきる～

8月末に配付した「持久走記録会のご案内」のとおり、持久走記録会を大きく変更しました。29日（金）には、たくさんのご来校をいただきまして、大変ありがとうございました。ご覧いただきましてとおり、自分との戦いである持久走本来の学びを具現化した5分間走でした。

これまでは低・中・高学年で距離を一定にし、どれだけの時間で走り切ることができたかを計測するという持久走記録会でした。体育の時間の「3分間走」や「5分間走」、20分休みに取り組んでいた「マラソントイム」、そして、サイクリングロードで行った「持久走記録会」。それらの関連性がやや弱かったという反省に立ち、冒頭のプリントの裏面でお知らせしたとおりメリットとデメリットを全て出し合った上で、検討して結論を出しました。

すべてを、「5分間走」に統一する！

メリットを簡単にまとめると、グラウンドで実施するので移動時間がなく、日陰で待つことも可能。何よりも子どもが見えなくなるので、常に応援できる。その上、5分間でどれだけ走ることができたかを記録し続けるので、他人との比較ではない自己の伸び（体力の向上）が明確に分かるのです。6年間を通して。場合によっては、大人になってからも、自分で継続することが可能です。まさに、生涯スポーツにつながる取組です。1周140mのグラウンドを7等分しているため、1メモリが20mと明確だからできることです。体育館の場合であっても、1周80mなので、結局は1メモリが20mなのです。明確です。

9月の初め頃は暑さ指数が高く「厳重警戒」の日が続き、外での運動ができませんでした。それでも、朝の早い時間や曇っている日には、体育部作成の音楽を流しながら取り組んできました。グラウンドだからできたことです。音楽には、何人かの職員が入力した途中経過時間やカウントダウン等の音声が入っています。このCD、ご希望の方には貸し出すことも可能です。この5分間走、休日などにご家族で取り組んでみてはいかがでしょうか！

「自然体験教室」に行ってきました

5学年 近藤 真弓

8月31日（木）、9月1日（金）に胎内市にある新潟県少年自然の家に行ってきました。到着後、オリエンテーリングを行いました。班ごとに、地図を見ながら森の中を探検し、ポストを探しにいきました。午後は、焼杉板製作をしました。火を起こして板を焼き、焼き上げた板に色付けをしました。焼き加減によって色や形が違い、素敵な思い出の品が完成しました。夜のキャンプファイヤーでは、美しく燃え上がる炎を見ながら歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりして楽しみました。その後の星空観察では、きれいな満月と雲の切れ間から見える星空を眺めたり、映像を見ながら星座の話の聞いたりしました。2日目は、カヌー体験をしました。カヌーは、パドル操作が難しく友達のカヌーとぶつかることもありましたが、どんどん上手になり、川の橋の下まで行くことができました。上手に操作ができるようになった子どもたちはとてもうれしそうでした。

この2日間で、5年生の子どもたちは、自分で考えて行動することの大切さを学びました。友達とお互いに声を掛け合ったり教え合ったりする姿を見て、子どもたちの成長を感じました。

